



# 竹林

白河市立五箇中学校だより No.5

発行 令和5年5月12日  
発行責任者 校長 小林 敏史



## 生徒会総会・県南中学校陸上大会壮行会が行われました。

12日(金)、第1回生徒会総会が行われました。今年の生徒会のスローガンは、『「最終章」～みんなで残す最高の思い出～』です。最後の1年を、笑顔で明るく前向きに進んでいこうという意欲を感じました。  
その後行われた県南中学校陸上競技大会の壮行会では、出場する選手一人一人が大会に向けての決意を述べました。最後に全員で円陣を組み、互いにエールを送りました。



(練習に励む陸上部のみなさん)



### ひまわりの土壌作り Part2 !

10日(水)、ひまわりの土壌作りを行いました。校庭の花壇に堆肥を入れてしっかりと混ぜ、ふかふかの土壌に仕上げました。  
ひまわりの種まきは、5月23日に五箇幼稚園の園児のみなさんと一緒に行う予定です。



### 連休中も頑張りました！

G・W中、各部活動で大会や記録会が行われました。バレー部は、4日(木)に行われた白河地区バレーボール交流大会に東中との合同チームで参加しました。予選敗退したものの、東中のメンバーとの良い呼吸あわせができました。同日、陸上部は市陸上競技場で行われた県中・県南中学校春季記録会に参加し、自己ベストに挑戦。また、卓球部は6日(土)に須賀川アリーナで行われた県南中学生学年別大会に出場しました。このあと行われる中体連県南大会では、各部とも力を全て出し切って、思い出に残るレースや試合を展開してほしいと思います。

- 県南中学校陸上競技大会  
5/17(水) 市陸上競技場
- 県南中学校総合体育大会  
6/6(火)～ 各会場



### 5月14日(日)は「母の日」ですが・・・ ～ 母の日に込められた思いとは？ ～

母親に感謝をする日といわれる母の日ですが、そもそもの始まりは、アメリカのある女性の行動によるものでした。女性の名前はミセス・ジャービス。彼女は牧師と結婚しており、1858年に「Mothers' Day Work Club(母の日仕事クラブ)」を結成し、病気で苦しんでいる人たちを助けるために募金活動を行うなどの慈善活動に取り組んでいました。

また、南北戦争時代も、中立を保ち「Mother's Friendship Day(母の友情の日)」という企画を立ち上げ、南北双方の兵士や地域の人々を招き、互いに理解し合えるようなイベントも行うなど、平和を願って献身的に働いた人物なのです。その他にも彼女は奴隷制度の廃止、女性労働者の環境改善、子供の保護、公衆衛生、社会保障など様々な問題について取り組んでいきました。

当時は女性がまだ社会的立場が弱い時代だったので、こうした母親としての社会活動は大変意義のあるものでした。ミセス・ジャービスが亡くなった際に、娘のアンナが葬儀の参列者に白いカーネーションを配りました。その後アンナは、すべての母親の平和に対する活動の貢献を讃えて「母の日」を祝日にする活動を行い、1914年にやっと夢が叶ったのです。ところがその後は、母の日を商業目的で利用する風潮が広がり、いつの間にか「母に感謝のプレゼントを贈る日」になってしまい、アンナが願っていた「社会や平和に貢献する母を称える日」としての意義はほとんど消えてしまいました。

「お母さん、ありがとう」の感謝の気持ちに併せて、平和についても考える機会が持てると、本当の意味での母の日を迎えられるかも知れませんね。



### < 次週の予定 >

15	月	
16	火	理科確認テスト①
17	水	県南中学校陸上大会(市陸上競技場) ※弁当持参日 4時間授業・昼食・部活・15:40下校
19	木	
19	金	週番引継ぎ 職員会議 ※部活動休止日 14:50下校



### ◇◇ 今週の言葉 ◇◇

才能の差は小さいが、  
努力の差は大きい。  
まして、継続の差はもっと大きい。



～ 続けることの大切さに気づくこと ～